

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年10月4日(2012.10.4)

【公開番号】特開2011-154309(P2011-154309A)

【公開日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2011-032

【出願番号】特願2010-17178(P2010-17178)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月22日(2012.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

鏡筒本体の外周に第 1 操作リングと第 2 操作リングとが回動自在に設けられた監視カメラ用レンズ装置において、

前記鏡筒本体の前記第 1 操作リングと前記第 2 操作リングとの間に形成された突縁部と

、
前記突縁部と対向する前記第 1 操作リングの端面に周方向に所定の幅をもって光軸と平行に形成された第 1 凹部と、

前記第 1 凹部の幅と略同じ幅をもって円弧状に形成され、基端部が前記第 1 凹部に収容されて、前記第 1 操作リングの端面から突出して設けられるとともに、前記基端部の周方向の両壁面が前記第 1 凹部の周方向の両内壁面にガイドされて、前記第 1 操作リングの半径方向に移動自在に設けられた第 1 押さえ板と、

前記第 1 凹部が形成された前記第 1 操作リングの端面と対向する前記突縁部の端面に周方向に沿って形成され、前記第 1 操作リングの端面から突出して設けられた前記第 1 押さえ板が収容される環状又は円弧状の第 1 溝部と、

前記第 1 操作リングの外周に形成され、前記第 1 凹部に貫通して設けられた第 1 貫通穴と、

前記第 1 押さえ板の基端部に形成された第 1 ネジ穴と、

同軸上にネジ部を有し、前記第 1 貫通穴を通して、前記ネジ部を前記第 1 凹部に収容された前記第 1 押さえ板の前記第 1 ネジ穴に螺合させることにより、前記第 1 操作リングに取り付けられ、回動操作されることにより、前記第 1 押さえ板を前記第 1 操作リングの半径方向に進退移動させる第 1 ツマミと、

前記突縁部と対向する前記第 2 操作リングの端面に周方向に所定の幅をもって光軸と平行に形成された第 2 凹部と、

前記第 2 凹部の幅と略同じ幅をもって円弧状に形成され、基端部が前記第 2 凹部に収容されて、前記第 2 操作リングの端面から突出して設けられるとともに、前記基端部の周方向の両壁面が前記第 2 凹部の周方向の両内壁面にガイドされて、前記第 2 操作リングの半径方向に移動自在に設けられた第 2 押さえ板と、

前記第 2 凹部が形成された前記第 2 操作リングの端面と対向する前記突縁部の端面に周方向に沿って形成され、前記第 2 操作リングの端面から突出して設けられた前記第 2 押さえ板が収容される環状又は円弧状の第 2 溝部と、

前記第 2 操作リングの外周に形成され、前記第 2 凹部に貫通して設けられた第 2 貫通穴と、

前記第 2 押さえ板の基端部に形成された第 2 ネジ穴と、

同軸上にネジ部を有し、前記第 2 貫通穴を通して、前記ネジ部を前記第 2 凹部に収容された前記第 2 押さえ板の前記第 2 ネジ穴に螺合させることにより、前記第 2 操作リングに取り付けられ、回動操作されることにより、前記第 2 押さえ板を前記第 2 操作リングの半径方向に進退移動させる第 2 ツマミと、

を備え、前記第 1 ツマミを回動操作して、前記第 1 押さえ板を前記第 1 操作リングの半径方向に進退移動させることにより、前記第 1 押さえ板を前記第 1 溝部の内壁面に当接 / 離間させて、前記第 1 操作リングをロック / アンロックし、前記第 2 ツマミを回動操作して、前記第 2 押さえ板を前記第 2 操作リングの半径方向に進退移動させることにより、前記第 2 押さえ板を前記第 2 溝部の内壁面に当接 / 離間させて、前記第 2 操作リングをロック / アンロックすることを特徴とする監視カメラ用レンズ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項 4 に係る発明は、前記目的を達成するために、鏡筒本体の外周に第 1 操作リングと第 2 操作リングとが回動自在に設けられた監視カメラ用レンズ装置において、前記鏡筒本体の前記第 1 操作リングと前記第 2 操作リングとの間に形成された突縁部と、前記突縁部と対向する前記第 1 操作リングの端面に周方向に所定の幅をもって光軸と平行に形成された第 1 凹部と、前記第 1 凹部の幅と略同じ幅をもって円弧状に形成され、基端部が前記第 1 凹部に収容されて、前記第 1 操作リングの端面から突出して設けられるとともに、前記基端部の周方向の両壁面が前記第 1 凹部の周方向の両内壁面にガイドされて、前記第 1 操作リングの半径方向に移動自在に設けられた第 1 押さえ板と、前記第 1 凹部が形成された前記第 1 操作リングの端面と対向する前記突縁部の端面に周方向に沿って形成され、前記第 1 操作リングの端面から突出して設けられた前記第 1 押さえ板が収容される環状又は円弧状の第 1 溝部と、前記第 1 操作リングの外周に形成され、前記第 1 凹部に貫通して設けられた第 1 貫通穴と、前記第 1 押さえ板の基端部に形成された第 1 ネジ穴と、同軸上にネジ部を有し、前記第 1 貫通穴を通して、前記ネジ部を前記第 1 凹部に収容された前記第 1 押さえ板の前記第 1 ネジ穴に螺合させることにより、前記第 1 操作リングに取り付けられ、回動操作されることにより、前記第 1 押さえ板を前記第 1 操作リングの半径方向に進退移動させる第 1 ツマミと、前記突縁部と対向する前記第 2 操作リングの端面に周方向に所定の幅をもって光軸と平行に形成された第 2 凹部と、前記第 2 凹部の幅と略同じ幅をもって円弧状に形成され、基端部が前記第 2 凹部に収容されて、前記第 2 操作リングの端面から突出して設けられるとともに、前記基端部の周方向の両壁面が前記第 2 凹部の周方向の両内壁面にガイドされて、前記第 2 操作リングの半径方向に移動自在に設けられた第 2 押さえ板と、前記第 2 凹部が形成された前記第 2 操作リングの端面と対向する前記突縁部の端面に周方向に沿って形成され、前記第 2 操作リングの端面から突出して設けられた前記第 2 押さえ板が収容される環状又は円弧状の第 2 溝部と、前記第 2 操作リングの外周に形成され、前記第 2 凹部に貫通して設けられた第 2 貫通穴と、前記第 2 押さえ板の基端部に形成された第 2 ネジ穴と、同軸上にネジ部を有し、前記第 2 貫通穴を通して、前記ネジ部を前記第 2 凹部に収容された前記第 2 押さえ板の前記第 2 ネジ穴に螺合させることにより、前記第 2 操作リングに取り付けられ、回動操作されることにより、前記第 2 押さえ板を前記第 2 操作リングの半径方向に進退移動させる第 2 ツマミと、を備え、前記第 1 ツマミを回動操作して、前記第 1 押さえ板を前記第 1 操作リングの半径方向に進退移動させることにより、前記第 1 押さえ板を前記第 1 溝部の内壁面に当接 / 離間させて、前記第 1 操作リングをロック / アンロックし、前記第 2 ツマミを回動操作して、前記第 2 押

さえ板を前記第 2 操作リングの半径方向に進退移動させることにより、前記第 2 押さえ板を前記第 2 溝部の内壁面に当接 / 離間させて、前記第 2 操作リングをロック / アンロックすることを特徴とする監視カメラ用レンズ装置を提供する。